

地方政府改革

田中 修

はじめに

李克強総理は11月1日、地方政府機能転換・機構改革テレビ電話会議を開催した。これは、党3中全会を目前に控え、改革への抵抗勢力の1つである地方政府に対し、最後の締付けを行ったものとみられる¹。本稿では会議での李克強総理の講話の概要を紹介する（中国政府網2013年11月1日）。

18回党大会・18期2中全会精神を全面的に深く貫徹実施し、政府改革という大作をしっかり仕上げなければならない。中央政府改革が前編であり、地方政府改革が後編である²。全体を構想し、全面的に思慮し、前編・後編を通して作品全体をしっかり書き上げ、市場の活力を更に多く発揮させ、人民大衆に更に好く奉仕しなければならない。

地方政府の機能転換・機構改革は、行政体制改革の重要な構成部分であり、政府と市場、政府と社会、中央と地方の関係を更に調整する一助となり、中央の行政命令が行き届くことを保証し、中央と地方の積極性をよく発揮させ、政府の効率が高く協調的な運営を促進するものである。これは、市場・社会の創造力を奮い立たせ、経済の転換・グレードアップを推進することによって、十分重要的意義を有するものである。

新たな国务院が成立して以後、錯綜し複雑な内外経済情勢と経済の下振れ圧力に対して、我々は機能の転換を第一の大事として、手を緩めずしっかり取り組んできた。現在、既に334項目の行政審査・許認可事項が取消・委譲され、政府の簡素化・権限の開放は、改革深化の「先鋒」及びマクロ・コントロールの「最初の砲撃」となっており、成果が不断に顕在化している。

今年に入り、全国各種企業の登記数は、前年同期比で25%増となっており、そのうち民営個人業者は37%増であり、民間投資の23%前後の伸びを牽引した。社会投資と起業の情熱は高揚しており、経済は安定の中で好転が出現した。改革加速と構造調整の相乗効果は、人々の予想を上回るものであった。

地方政府の機能転換に際しては、「接・放・管」に重点的に取り組まなければならない。

「接」とは、中央が委譲した審査・許認可事項をしっかり引き継ぐことである。中央が

¹ 会議は中央編制委員会副主任である劉雲山政治局常務委員が主催し、広東・上海・吉林3省市の主要責任者が発言した。

² ゴチックは筆者。

はっきりと取消を命じたものについては、割り引くことなく市場・社会に譲り渡し、手元に留めてはならない。

「放」とは、**地方政府が開放すべき権限を確実・完全に開放すること**である。とりわけ、法規に適合せず、「共産党指導部重要文書」の形式を利用して設定された管理・費用徴収・罰金項目は全て取り消し、決してちまちまと損得勘定・打算を働かせてはならず、「上が動いても下は動かず、頭は転じても身体はそのまま」となることを防止しなければならない。

「管」とは、**管理すべきものは万全に管理すること**である。事前の審査・許認可を減らすと同時に、実施中・事後の監督管理を強化し、監督管理行為を規範化し、恣意性を克服し、統一的で開放され、公平な競争の市場環境の構築に力を入れることにより、起業を燃え立たせる。

偽物・劣悪品を製造・販売し、詐欺・騙りを行い、とりわけ人民の生命・健康に損害を与える食品安全等の分野での違法行為に対しては、容赦なく厳罰に処さなければならない。健全な「ブラックリスト」制度を確立し、違法者に耐えがたいほどの代償を払わせる。

民生を保障するという基本公共サービスを強化し、基本をしっかりと維持し、不足を補い、最低ラインにしっかりと責任を負い、社会の公正を促進しなければならない。

地方機構改革は、「控、調、改」をしっかりと力を入れて行わなければならない。

「控」とは、**地方政府機構の編制総量を抑制し、財政により養われる人員を減らすのみで増やさないこと**である。

「調」とは、**機構編制構造を調整・最適化し、末端・第一線を重点的に強化し、「頭が大きく、脚が細い」現象を転換すること**である。

「改」とは、改革の深化を通じて、**機構編制の潜在力を発掘し、事業の発展需要を満足させること**である。

政府の機能転換・機構改革は、自己革命である。民意を優先し、自分の利益を捨てて公のために尽くし、敢えて難題に取り組む勇気を持ち、道義のために後に引かず、最後までしっかりやりぬかなければならない。同時に、「開放したとたん乱れ、管理したとたん駄目になる」という悪循環の出現を防止する。

末端政府の改革・建設を強化し、サービスの管理能力を高め、末端幹部に関心を払い、彼らの生活・活動に確実な保障を提供しなければならない。とりわけ、給与の支払いが遅延してはならない。

(11月6日記)